

報道関係者各位

平成25年12月30日  
国際協力機構（JICA）  
カンボジア事務所

＝プレスリリース＝  
「アンコール・ワット西参道修復機材整備計画」の贈与契約を締結  
ーより安全なアンコール・ワット観光に向けてー

国際協力機構（JICA）カンボジア事務所長・井崎宏は、カンボジア経済財政相（MEF）オウン・ポンモニーロット大臣と12月27日（金）付で、「アンコール・ワット西参道修復機材整備計画」（供与限度額：9,470万円）に対する無償資金協力贈与契約（G/A）を締結しました。

「アンコール・ワット西参道修復機材整備計画」は、カンボジア政府管轄機関としてアンコール遺跡の修復・保全活動を行うアップサラ機構に対し、アンコール・ワットの西参道を修復する上で必要な機材（クレーントラック、小型クローラークレーン、ホイールクレーンなど）を整備するための資金を提供するものです。

年間約100万人の外国人訪問者が訪れるアンコール・ワット。しかし、西参道の中央部分は深い溝により、南側と北側が分離されている状態でした。これを受け、1960年代には西参道の南側がフランスの支援により改修され、また、2007年には北側の東半分が、アップサラ機構と上智大学の協力により修復されました。

一方、アンコール・ワットの表玄関である西参道の北側西半分については修復作業が手づかずのままであったことを受け、2012年にシェムリアップにて開催されたアンコール遺跡救済国際調整委員会にて、修復作業を行うことが強く推奨されました。その後、カンボジア政府からの要請に応ずる形で、今回の無償資金協力事業の実施が決定したものです。

今回の無償資金協力プロジェクトにより、西参道の北側西半分（全長200m・全幅13m）の改修が進み、訪問客の安全が確保されるとともに、アンコール・ワットの観光資源としての価値が更に向上することが期待されます。

